

定例公安委員会の開催状況について

令和6年3月7日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 令和5年度情報処理能力検定の実施結果について

警察職員の情報処理に関する知識及び技能の向上に資することを目的とした令和5年度情報処理能力検定の実施結果について報告があった。

委員から、犯罪集団等と対峙する際等に、知識として必要になると思うので、検定を通して情報処理能力を高めていただきたい旨の発言があった。

委員から、職員は皆初級をクリアしているということかとの質問があり、警務部長から、初級は初任科生を含め全員が合格している旨の説明があった。

委員から、検定に合格することの意味や目標を明確にして、その必要性を示すことが大事であり、是非継続していただきたい旨の発言があった。警務部長から、検定に際し、警察のセキュリティポリシーや外部記録媒体の管理等も広く勉強する必要がある、そういったことも学んでいる旨の説明があった。

(2) 県警察における令和5年度定期会計監査（下半期）の実施結果について

県警察における令和5年度定期会計監査（下半期）の実施結果について報告があった。

委員から、注意事項としたものに対しては、ダブルチェック等により正確な事務処理を期するなど、再発防止に留意していただきたい旨の発言があった。

委員から、事務処理の遅延が目につくことから、これまで講じてきた対策が十分だったか、再度点検してほしい旨の発言があった。

(3) 令和5年度における各種警察術科大会の結果について

令和5年度における各種警察術科大会の結果について報告があった。

委員から、各種術科大会においてこれだけ多くの優勝を飾られたことは大変素晴らしいと思う旨の発言があったほか、引き続き稽古に励み、県民の安全安心のため実践に役立ててほしい旨の発言があった。

委員から、柔道と拳銃が全国優勝しており、全体としても、東北管区内ではいずれも上位に位置しているということで、山形県警察の術科がハイレベルであるということが良く分かった旨の発言があった。

委員から、コロナ禍では、術科訓練も困難な状況であり、警察力の低下が懸念されたが、しっかりとトレーニングを積んでいたものと評価し、今後とも研鑽に努めていただきたい旨の発言があった。

(4) 令和6年度監察実施計画について

令和6年度監察実施計画について報告があった。

委員から、基本に忠実な業務の推進に向け、計画どおり実施していただきたい旨の発言があった。

委員から、昨年発生した拳銃の誤発射事案を二度と繰り返さないことは極めて大事で、年間を通して業務監察で確認するプロセスとなっており妥当である旨の発言があった。

委員から、これまでも、基本の不徹底が非違事案につながったケースが往々にしてあることから、基本の徹底がなされているかという観点で監察を実施していただきたい旨の発言があった。

(5) ストーカー事案の現状等について

ストーカー事案の現状等について報告があった。

委員から、ストーカー事案は、重大な人身被害につながるおそれがあるという認識を常に持ち、相談を真摯に受け止め、被害の未然防止に努めてほしい旨の発言があったほか、捜査員のモチベーションの維持にも配慮していただきたい旨の発言があった。

委員から、警察に相談される時点で、緊迫度が高い事案になっている可能性があることと捉え、迅速に対応していただきたい旨の発言があったほか、幹部による教養等により、ストーカー事案への適切な対応について引き続き発信していくことが重要である旨の発言があった。

委員から、ストーカー事案については、最初の相談対応が大切であり、当事者は勇気を持って相談に来ているので、些細なことも見逃すことなく、解決に向けて対応してほしい旨の発言があった。

(6) 広域にわたる窃盗（自動販売機狙い）等事件の検挙について

広域にわたる窃盗（自動販売機狙い）等事件の検挙について報告があった。

委員から、多くの捜査員を動員して地道な捜査によって迅速に犯人を検挙したことを評価し、感謝申し上げる旨の発言があった。

委員から、今後もこのような事件が発生するおそれがあるので、引き続き他県警との連携を図りながら迅速に対応していただきたい旨の発言があった。

(7) 令和5年中における交通安全教育の実施状況について

令和5年中における交通安全教育の実施状況について報告があった。

委員から、今後も交通安全教育機器を活用した安全教育の機会を増やしていただくようお願いしたい旨の発言があった。

交通部長から、交通安全教育を広く周知して、安全教育の機会を更に増やしてまいりたい旨の発言があった。

委員から、引き続き参加者の拡大と効果的な教育プログラムの検討を継続していただきたい旨の発言があったほか、今後の道路交通法改正に当たり、自転車を利用する高校生も対象となるので、教育現場と連携して、警察の方針等を説明する場を設け、法改正当初から広くPRしていただきたい旨の発言があった。

委員から、危険予知トレーニングについては、運転者及び歩行者の意識啓発に効果的であるので、様々な場面で利用していただきたい旨の発言があったほか、自転車用ヘルメットの着用浸透に関しては、『まずは大人が率先してやって見せることが大切』である旨の発言があった。

(8) 山形県警察沿岸警備ネットワークについて

山形県警察沿岸警備ネットワークについて報告があった。

委員から、日本の海の安全につながるよう新たな警備体制で、民間の協力を得ながら、沿岸部の警戒に努めていただきたい旨の発言があった。

委員から、これは山形県警独自の取組なのかとの質問があり、警備部長から、これまでは協力会として活動してきたが、警察主導の新たな組織作りを行ったものであり、全国に先駆けた取組としてリーディングケースになるよう活性化を図ってまいりたい旨の説明があった。

委員から、警察が委嘱することにより、任命される方の役割が明確となるので効果がある施策であると考える旨の発言があったほか、結果として沿岸警備が強化できるように取り組んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、委嘱するモニターの活動について、実効性のあるネットワーク活動となるよう期待する旨の発言があった。

本部長から、今回、全国に先駆けて、こうしたネットワークを構築するものであるが、既存の制度の活用と併せながら、沿岸警備の総合的な在り方について引き続き考えてまいりたい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

- 審査請求の裁決について
警察本部から、審査請求の裁決について説明を受け、決定した。
- 特例施設占有者の指定に関する規程の一部改正について
警察本部から、特例施設占有者の指定に関する規程の一部改正について説明を受け、決定した。
- 令和6年能登半島地震に伴う援助要求について
警察本部から、令和6年能登半島地震に伴う援助要求について説明を受け、決定した。
- 運転免許関係行政処分審査
警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞結果について説明を受け、決定した。
- 公安委員会専決事務に関する規程の一部改正について
警察本部から、公安委員会専決事務に関する規程の一部改正について説明を受け、決定した。
- 公安委員会苦情に対する回答について
警察本部から、公安委員会苦情に対する回答について説明を受け、決定した。
- 監察関係報告
警察本部から、監察関係について報告があった。
- 事件関係報告
警察本部から、事件関係について報告があった。
- 令和5年交通規制関係年次報告
警察本部から、令和5年交通規制関係について年次報告があった。
- 令和5年許可等事務関係年次報告
警察本部から、令和5年許可等事務関係について年次報告があった。
- ストーカー禁止命令等報告
警察本部から、ストーカー禁止命令について報告があった。
- 特定秘密保護法に関する管理状況報告
警察本部から、特定秘密保護法に関する管理状況について報告があった。